

発行 佐呂間町役場 48. 3. 5 No. 186号 印刷 井谷印刷株式会社

人の動き

世帯数	2,665
人 口	10,053
男	4,880
女	5,173

2月28日現在住民
基本台帳人口



農閑期を利用してスタミナ料理を習う主婦の顔は明るい(朝日)

ゆきど
雪解け

三月の声をきくと、日中のこの
陽気、北国にも漸く春がきたナ
ーという感じ。

また道路の水びたしの時期にな
ってきた、車を運転するひとは、
くれぐれも歩行者に注意してい
ただきたい

特に入学期の子どもなど新しい
服を汚されてベソをかいている様
を時々みかけます。

三月のことを別名「弥生」とい
う、草木がいやが上にも生え繁る
ことをさしていたものか……
しかし、佐呂間ではこんな感じは
まだまだ先のこと。

新年度予算議会も、十二日(予
定)から始まる。

町の予算も年々大型化して懸案事
項も多く盛り込まれている。

財政面とにらみ合せて効果的な
執行をし、住民の要望を少しでも
満たさなければならぬ。

3

昭和四十六年度

決算概要

昭和四十六年度本町各会計の決算が終わり、昭和四十七年十二月監査委員会の監査を終了しましたので、昭和四十八年一月二十日開会の臨時第一回町議会に、認定第一号として提案し議会の決算特別委員会に付託されましたが、一月二十九日特別委員会で審議され、三月一日の町議会で認定されましたので、その決算の概要をお知らせ致します

一般会計

才 入 九億九千七百四十六万七千八百二円
才 出 九億四千七百七十八万九千〇二円
差引残額 五千三百六十八万八千八百〇円

財政運営の概要

昭和四十六年度は政治、経済、社会の各方面に亘って、誠に波乱と激動に満ちた年でありました。

国家的には、沖縄返還協定の国会承認、関連立法の成立、中華人民共和国の国連加入等をはじめ、統

一 地方選挙、参院選挙、これを通じての公害、交通戦争、物価、消費者行政など、身近な問題が強く印象づけられました。が、町内的には何といっても、十月末に発生した、近年にない大水害と冷害凶作の一連の被害でした。

一方、経済面においては、四十五年度後半からの景気鎮静のあとをうけ、四十六年に入り著しい景気の下降をみましたが、これに追いつくをかけるように、八月に、ニクソン大統領のドル、金交換の停止、輸入課徴金等新経済政策による、いわゆるニクソンショックが加わり、景気停滞は長期化の様相を示してきました。

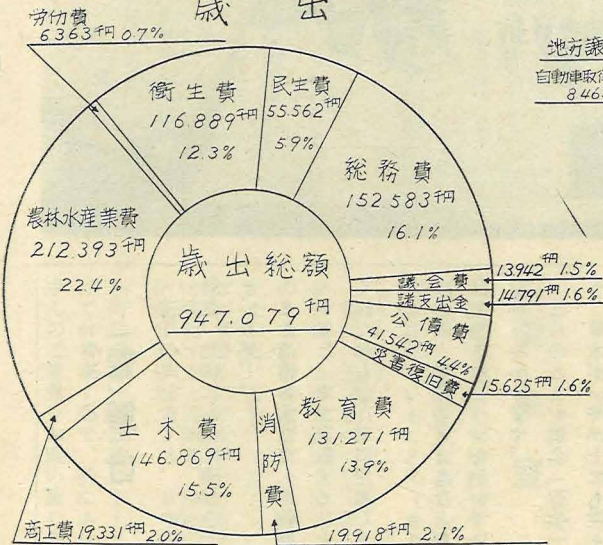
この景気の落ち込みは、地方財政にも少なからず影響し、政府はこの事態に対処して、年度内所得税の減税、公共事業の追加、国債追加発行などの措置が講じられましたが、この様な情勢の中での本町行財政は、例年のことながら自主財源は僅少で財政力は乏しくはありますが、地方交付税、国、道補助金町債等に対して依存度を高め、町民各位の要望に応え、出きる限り住民福祉の向上に努めるよう、町財政運営を行なってきました。

以下各事項別に概要を申し上げますと、

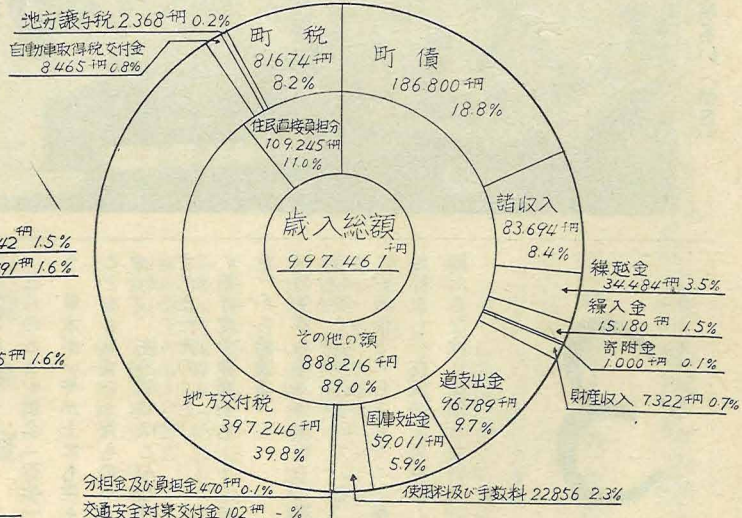
農業関係については、

農業者の減少に反比例し、生産額は年次上昇しつつありますが、依然として土地生産性は低く、中核の酪農においても牧草、ビート

歳 出



歳 入



等収穫量の僅少など多くの改善点を内包しており、土地基盤整備と経営整備の充実、経済管理の改善が肝要であり、これら改善の基本となる、農業振興計画の樹立に着手するとともに、産業関係の主事業としては、円山牧野の造成、生産農道の改良と除雪対策、佐呂間浜幌地区畑総事業の推進等に重点をおき取りすすめてきましたが、予期しない大水害、冷害凶作の発生で、これらの対策として救農対策事業を実施しました。

林業関係においては、

林業界の不況から、優位な資源を有しながらも混迷を続け、これが根本的改善策として、製材業構造改善事業の実現に努めてきており、また、民有林の振興施策としては、林構事業の地区指定を受け基本計画を樹て四十七年度より事業に着工することになりました。

漁業関係については、

浅海養殖事業の着実な発展により、浅海養殖を主体とした漁業の進展に努めるため、サロマ湖開発事業推進と施設の整備について関係機関へ要請しており、

商工関係については、

人工の流出による購買力の減退と、冷害凶作による影響の打開策として、経営資金借入対策について考慮するほか、経営指導の強化、労務改善対策等を進め、また、町企業誘致促進のための組織をつく

り、過疎化現象に対処し、

観光関係についても、

サロマ湖の観光開発を主体として差し当り、キムアネツブ岬の整備に着手し、また、サロマ湖自然休養林の指定を受けるべくとり進めてきました。

教育関係については、

逐年校舎の改築、教住の整備に多額の投資をしてきましたが、四十六年度においても若佐小屋体の改築と、知来小校舎の改築に主力をおくと共に、教住についてもへき地住宅、共済融資住宅の導入等を図り、五戸を整備しました。

土木関係においては、

産業振興と住民生活の基本的要諦である道路、橋梁の整備に努めることとして、国道、道々の改良舗装促進を図ると共に、町道においては、交通量の最も多い富武士原野道路、佐呂間市街地域主要道路の改良舗装、知来牧野橋の完成若里原野道路改良を施行しましたが、十月の大水害による災害復旧工事として協和橋、吉野橋、室井橋、惣田橋、三線川の復旧に着手すると共に、冷害凶作の救農事業的関連をもって、三十九号線農道改良工事を施工しました。

民生関係については、

住民の健康と豊かな生活を基調とした行政に配慮し、四十六年度の主な事業としては、厚生病院

全面改築の完成と、四十七年度に建設を計画中の体育施設用地の整備を実施し、体育館の構想については、特別委員会に諮問検討を願うと共に、体育館、老人いこいの家の建設資金として財源の一部を蓄積しました。

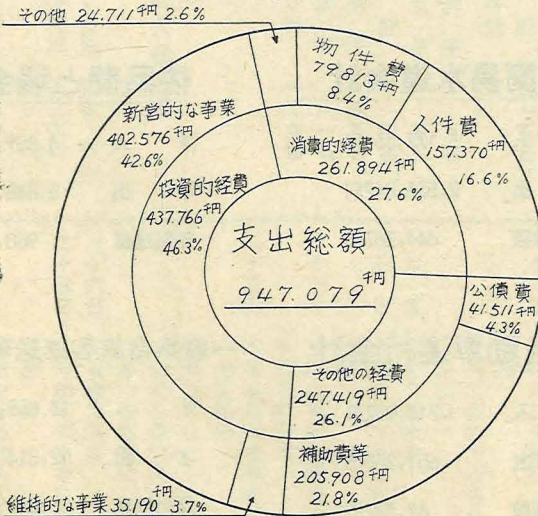
また、老人対策の一環としての医療費全額公費負担については、国において四十七年一月から実施の制度化されたことにより、本町もこれに併せ実施することになりました。

住民税の減免実施

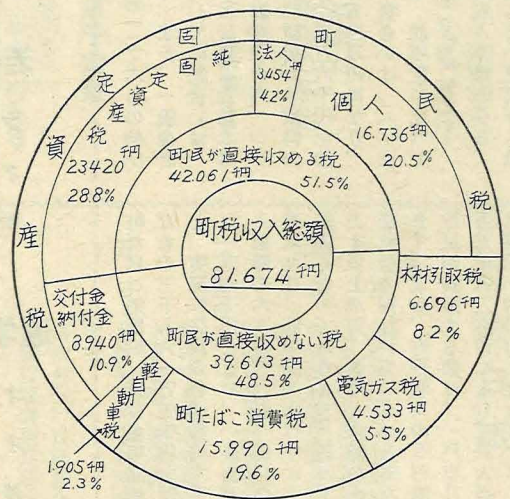
また、才入面においては、冷害凶作による住民税の減免を実施したことも特記する事項です。

以上のように、多種多様の事業施行に当っては、国、道補助金、起債、その他の財源の年度中途における確保、あるいは変更が目まぐるしく、年度内に十三回に亘る予算の補正を行ない、予算執行をしたところですが、幸い地方交付税をはじめ、各種財源の伸長確保により計画した事業全般を完了し、なお、翌年度財源の一部として繰越すことの出来たことは誠に喜ばしく、住民各位の御支援御協力によるものと深く敬意を表し、財政運営状況の概要を報告します。

歳出性質別内訳



町税目別



保険給付の状況

計	療養給付	療養費	助産給付	葬祭給付
二〇二二五件	二〇、〇二七件	五二件	八四件	五二件
一億二千六〇五万八千円	一億二千四六九万九千円	二五万九千円	八四万円	二六万円

特 別 会 計

国民健康保険会計

入			出		
科 目	決 算 額	構成比	科 目	決 算 額	構成費
国民健康保険税	20,864,558円	20.1%	総 務 費	6,642,847円	6.6%
使用料及び手数料	9,220	—	保 險 給 付 費	87,138,208	86.5
国 庫 支 出 金	66,705,225	64.2	保 險 施 設 費	4,777,696	4.7
道 支 出 金	109,000	0.1	基 金 積 立 金	262,856	0.3
繰 入 金	7,426,000	7.1	公 債 費	—	—
繰 越 金	7,844,554	7.5	諸 支 出 金	1,874,368	1.9
財 産 収 入	266,916	0.3	予 備 費	—	—
諸 収 入	678,848	0.7			
才 入 合 計	103,904,321	100.0	才 出 合 計	100,695,975	100.0
			差 引 残 額	3,208,346	

町民負担の状況

町税の負担の割合は

一戸当り一万五千八三六円
一人当り 四千一六〇円

別表グラフ(町税々目別)の
おり、収入の内訳がでており、住
民が直接間接に収める町税、税外
収入等は、町財政の基本的なもの
ですが、昭和四十六年度の町税収
入は八千一六七万四千円と、前年

度より約二一・六%の伸び
率を示し、また、一般会計
総額に対しての割合は二・
八二%と、前年度より二・
六%低くなっておりです。
なお、このほか、使用料手数料の
税外収入二千二八五万六千円を加
えると、一億四五三万円になり、
総額に対しての割合は二・〇・五
%と、これまた、前年度に比べて
三・六%と低くなっておりです。
また、町税税外収入総額のうち、
直接住民が負担しない電気ガス税

町たばこ消費税、交付金等間接的
なもの三千九六一万三千円を除く
と、実際に住民の負担額は六千四
九一万七千円となり、一般会計収
入総額の六・五%という低い負担
率になり、前年度と比べて二・五
%低くなっておりです。従って九
三%以上が国、道などの補助金や
交付金で補われていることになり
ます。なお、町税収入のうち直接
住民が負担する額は、一戸当り一
万五千八三六円になり、一人当り
は四千一六〇円となります。

町 有 林 会 計

才 入	29,441,328円
才 出	22,523,364円
差引残額	6,917,964円

佐呂間簡易水道会計

才 入	30,105,449円
才 出	27,975,590円
差引残額	2,129,859円

浜佐呂間簡易水道会計

才 入	2,898,189円
才 出	2,097,003円
差引残額	801,186円

富 武 士 簡 易 水 道 会 計

才 入	1,235,146円
才 出	699,931円
差引残額	535,215円

若 佐 簡 易 水 道 会 計

才 入	3,177,336円
才 出	2,533,049円
差引残額	644,287円

佐 呂 間 と 場 会 計

才 入	4,809,299円
才 出	3,848,387円
差引残額	960,912円

通学自動車運行会計

才 入	713,992円
才 出	651,265円
差引残額	62,727円

一般乗合旅客運送事業会計

才 入	13,055,317円
才 出	12,814,763円
差引残額	240,554円

昭和四十六年度

監査委員会意見概要

監查委員

西山本
喜豐
作利

昭和四十六年度の決算審査は、昭和四十七年十一月二十一日から実施し、十二月九日にその総てを完了したので、監査の結果の報告と意見書を次のとおり提出します。

裕
評

昭和四十六年度は、国の財政基本方針が一般会計については、物価上昇を抑制すべくその伸び率を極力抑へ、また、外貨保有高の増大に伴う諸外国からの経済界に対する圧力が加わって、国家財政の基本的検討を迫られるという多難の年であったが、景気停滞の長期化することに対処するため、急拠、所得税減税、公共事業の拡大、国債発行の追加等の措置がとられた。しかし、当町のように自主財源に乏しく、特殊財源にも恵まれない地域の財政運営には困難が予測され、地方交付税、国及び道の補助金、町債等に依存した予算計上は止むを得ないものである。また、地域住民から要望される各種施設、土地基盤整備、牧野事業

療施設、教育施設等いづれも多額の予算措置を必要とするものが多く、事業計画と共に町財政の運営には努力と決断を迫まれた年である。こうした情勢下ではあったが、前年度からの継続事業も含めて予算措置には町政執行者と町議会が協力してこれに当り、収支の均衡を保ちながら運営し、年度計画事業の完成を見て決算されたことは、町民各位と共に敬意を表したい。

諸說

一般會計

(収入の部)

町税収納は、調定額八千二百二万四千円に対し、収納額は八千一六七万四千円で、収納率は九八・九%で前年度に比べて一段と良好

な成績を示している。

税目別の収納状況は別表グラフのとおりで、才入の総額は調定額九億九千八九〇万三千円に対し、収入済額九億九千七百四十六万一千円で収納率は九九・九%の好率を示し、いづれも前年度を上廻っている。また、滞納繰越、不能欠損についても、税法の定めるところによって処理され、特に、過去に指摘した事項については改善され、適正な事務経理がなされていたことは関係各位の指導と努力の結果であり、敬意を表するとともに、この成績を持続することを期待します。事務的処理事項の中で使用料等の希望意見を出したが、関係部局で検討されるよう申し添えます。

(才出の部)

一般會計の才出の総額は、予算九億七千六・一六万一千円で、支出額は九億四千七〇七万九千円である。

才出の各款別予算及び支出額は

別表グラフのとおりで、これに示すように、支出総額に対して特に大きな比率を占める費用は、農林水産業費、土木費、衛生費、教育費等であるが、これらの支出は地域住民の要望に応えて実施した事業、施設設備に支出されたもので、厚生病院建設費、若佐小、知来小若佐格技館、公民館、集会所の改築建築費および助成、公園用地購入費、道路整備、舗装工事費、土地改良、牧野設置、救農事業除雪

地方債の現債高

地方債は、町のいろいろな事業を行なうための資金として、政府公庫などから借入れている長期資金で、毎年、年次償還はされておりますが、昭和四十七年三月現在では次のようになっております。

高債現別先借入				千円
大	蔵	省	321,465	
郵	政	省	69,451	
農	業	融公庫	15,007	
林	業	共済組	3,844	
立	学	員共済組	11,724	
北	海	道	6,403	
北	海	道	6,985	
そ	の	他		
合	計		434,879	

高價現別使用		
土農教公消病救刃庁衛刃災そ	木水育住防院対整舎生道復の	債債債債債債債債債債債他
林	産	64,485千円
営	宅	49,531
農地	策備	147,390
地害	貸旧	20,643
		16,629
		87,826
		16,186
		6,920
		11,765
		5,934
		403
		4,600
		2,576
合	計	434,879

機械、橋梁工事、消防施設、老人

し述べることはない。

特別會計

(才入、才出の部)

医療費、農林水産業関係の各種補助等が主なもので、これらに関する契約、施行、検収および支出負担行為に必要な書類、補助助成に対する関係団体からの事業計画ならびに決算書は総て提出されて、経理上の過誤はないと認めた。

改善措置事項

4 犬衛生費1項18節備品購入費は、当初野犬けい留用枠の購入予定であったが、保健所からの交付によって早期に購入不要となったが、補正等の措置をせず、不用額

町有林、通學自動車、國民健康保險、と場、各簡易水道の特別會計の才入才出額は別表の通りで、基金繰入状況および次年度繰越金は同表のとおりである。

各特別會計は計画どおりに事業が実施され、収入関係、支出命令書による受領証も整備されて諸帳簿との計数は、総て符合し、特に申

費は、町ごみ処理場整地の砂利が不要となり、十二月には工事額が確定しているにもかかわらず、十二月に追加補正し不用額としているので配意されるべきである。

6款農林水産業費1項7目農業後継者育成費については、14節の年度当初の計画は、青少年の先進

町議会より（臨時第二回）

新しい助役に

西田 勤氏（網走支庁建設指導課長）が

選任されました

議案第八号

特別職の給料額及び旅費額並びにその支給条例の一部を改正する条例制定について

町長 給料月額 二七万円
助役 " 二〇万四千円
収入役 " 一七万八千円

議案第九号

佐呂間町教育委員会教育長の給料額及び旅費額並びにその支給条例の一部を改正する条例制定について

教育長 給料月額 一七万三千元

議案第十号

職員給与に関する条例の一部を改正する条例制定について

住宅手当
自己の所有に属する住宅に居住している職員、その他これに準ずるものに、月額千円の住宅手当を支給する。

議案第十一号

職員の寒冷地手当に関する条例の一部を改正する条例制定について

議案第十二号

助役選任について
佐呂間町助役に次のものを選任

地視察研修で、計画によって実施されたが、参加者が予定の半数にも達せず、当初予算の五〇％を減額補正している。こうした計画は町当局ばかりでなく、農業、漁業の関係団体とも協議して実施時期内容等も十分検討を加え、多数の参加によって実効を挙げようよう配意された。

6款1項10目9節旅費は、当初予算二四万一千円を計上し、賃金へ一五万五千元、役務費へ五千元を流用している。これは、賃金に当初二五万円を計上し、不足額が明らかになったにもかかわらず、補正措置をせず流用を重ねたもので計画変更の時点で補正されなければならぬ。また、12目12節役務費は、当初予算七万九千円を計上し、ただちに七万九千円を共済費に流用したが、これは明らかに予算編成時における節区分の誤りであり十分留意されたい。

11款災害復旧費1項1目9節旅費については、当初予算が未使用であるのに追加補正し、これを流

用して更に追加補正しているが、予算計上の基礎算出と計画事項の確認をすべきである。

以上が決算審査に関する改善事項等であるが、審査中にも各担当責任者の説明を受け、検討すべき点についての意見を述べたが、これらも併せて措置され、より効果的な財政運営を期待します。

結 論

提出された昭和四十六年度の決算書類ならびに諸表、証拠書類はいづれも関係法令、町条例、規則等に準拠して作成され、決算の各計数は正確であり、財政運営も適切であると認めます。

町当局の努力に対し謝意を表するとともに、町民の町政への期待は大きく、しかも複雑化する事務事業と財政運営には、町民各位の徹し目のあることに留意され、職員全員が常に地方公務員の精神に則り、町民の信頼の上にたち、きめ細かい配慮によって明るい町づくりに一層の努力を願いたい。

報告第一号

（専決処分について）
昭和四十七年度佐呂間町一般会計補正予算（第十三号）
才入才出予算の総額は増減ないものとし、才出予算の補正の款、項の区分の金額の補正。

議案第四号

昭和四十七年度佐呂間町と場特別会計補正予算（第二号）
才入才出予算の総額は増減ないものとし、才出予算の款、項の区分の金額の補正

議案第三号

昭和四十七年度佐呂間町佐呂間簡易水道特別会計補正予算（第二号）
才入才出予算の総額に、それぞれ一六二万一千円を追加し、才入才出予算の総額をそれぞれ二千八二万二千円とする。

議案第二号

昭和四十七年度佐呂間町町有林特別会計補正予算（第四号）
才入才出予算の総額は増減ないものとし、才出予算の款、項の区分の金額の補正

議案第一号

昭和四十七年度佐呂間町一般会計補正予算（第十四号）
才入才出予算の総額に、それぞれ五千三百二十九万九千円を追加し、才入才出予算の総額をそれぞれ一億七千三百六十九万二千円とする。

議案第五号

昭和四十七年度佐呂間町国民健康保険特別会計補正予算（第三号）
才入才出予算の総額に、それぞれ三千一六万五千元を追加し、才入才出予算の総額をそれぞれ一億五千五〇三万五千元とする。

議案第六号

昭和四十七年度佐呂間町一般会乗合旅客運送事業特別会計補正予算（第二号）
才入才出予算の総額に、才入才出それぞれ八千円を追加し、才入才出予算の総額をそれぞれ一千三六万一千円とする。

議案第七号

特別職及びその他の報酬額、費用弁償額及びその支給方法に関する条例の一部を改正する条例制定について

町議会議員報酬

議長 年額 六二万四千円
副議長 五〇万四千円
常任委員長 四六万八千円
議員 四三万二千円

健康を守る婦人大会



町内の婦人600人を集めて
盛会に終わった婦人大会

健康管理の意識の向上

貴重な体験発表など

開びやく以来の婦人の集まり

「健康を守る婦人大会」が三月二十七日佐呂間町体育館で、町内から六百名の婦人を集めて行なわれました。講師は、結

核予防会道支部札幌健康相談所長医学博士、宮城行雄先生の「最近の結核予防事情について」、道対がん協会検診センター所長医学博士田村浩一先生の「胃がんについて」、江別保健所長医学博士、山田

陸夫先生の「成人病と母子衛生について」の講演があり、午後から遠軽保健所保健婦、関根富久子さんの「保健婦の立場から佐呂間町の結核について考える」と題して体験発表があり、続いて啓生の豊田好勝さんが「結核に打ち勝って」とご自分の長年病魔と斗って勝ち抜いた貴重な体験談がありました。

最後に知来の中原富多枝さんの「結核予防婦人幹部講習会に出席して」と題しての報告があり、有意義な一日となりました。

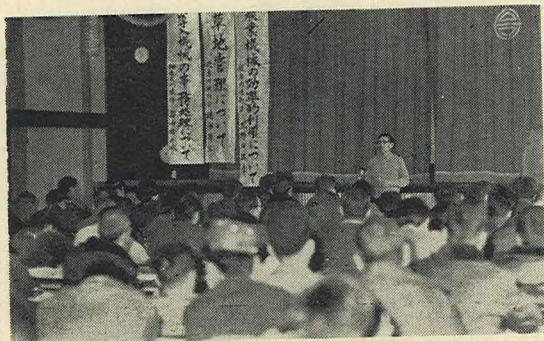
会場は朝早くから大勢の婦人が集まり、開びやく以来（この様に婦人が集まったのは初めて）で、会場は終日活気に溢れていました。健康とは、世界保健機構憲章の中にもいっているように「肉体的精神的、社会的に完全に良好な状態であって、単に病気や虚弱な体質でないということだけではない」といっています。

ゼーションが発達し、生活環境が向上した、いわゆる、目まぐるしく移り変わる社会環境の中にある健康が第一で、町においても、また、道や関係機関においても地域住民の健康管理に、大きな施策と関心がはらわれています。なかんづく、家庭をあづかる主婦は、一家の健康管理のポイントを掌握しており、その知識の吸収、推進の役を果してもらわなければならない。

その意味において今回の「婦人大会」は、更に、健康管理の意識の向上とともに、一家の主婦としての責任の再認識の上に大きな意義があった大会といえます。

農閑期を利用して 農業知識の吸収 — 冬期農業講座 —

先月二十六日、冬期農業講座が佐呂間公民館で開かれました。講師は、北見農業試験場専門技術員、清水隆三さんの「草地の管理について」、十勝農業試験場専門技術員、三野田正幸さんの「農業機械の法律利用について」、網走支庁技師、畠山千代さんの「補助事業による導入機械の事務処理について」と題してお話がありました。会場には百数十人の農家のひとが集まり、メモをとるなど終日熱心に聴き入っていました。



相続税は、正味の遺産総額が四百万円と八百万円に法定相続人の数をかけた金額との合計額（この合計額のことを「遺産にかかる基礎控除額」といいます）をこえる場合にかかります。

また、さらに法定相続人のうち被相続人との婚姻期間が十年をこえる配偶者がある場合には、その十年をこえる年数一年について

相続税はどのくらいの財産からかかるのか

四十万円のわりで計算した金額を正味の遺産総額から差し引くことになっていきます。

この控除額のことを「遺産にかかる配偶者控除額」といい、その最高限度額は四百万円です。

したがって婚姻期間が二十年以上である場合の控除額は、一律四百万円となります。

たとえば、婚姻期間が二十年以上

上の配偶者と四人の子どもが法定相続人だとすると、正味の遺産総額が一千万円以下であれば、相続税はかからないことになりません。

しかし、その配偶者が前に「贈与税の配偶者控除」を受けたことがある場合には原則として、この「遺産にかかる配偶者控除」は受けられません。

ところで、ここでいう法定相続

人とは、相続や遺贈によって財産をもらったかどうかに関係なく、相続する権利のあった人のことをいいます。したがって、相続を放棄した人があっても法定相続人の数は変わりません。

なお、相続税の申告書を提出する人が「遺産にかかる配偶者控除」を受ける場合には、申告書にそ

営農への意欲にもえていることと思えます。

三月は、例年ひとつやふたつの吹雪に見舞われますが、融雪は早いものです。

先ず、一番先に土の香りをかくのはハウス作りです、残雪を除去して一日も早くビートや、野菜の播種が出来るようにビニールハウスを設置しましょう。

農家の皆さん、二月中に時ならぬ春の気配を感じ、早くも今年の



普及所だより

の控除について必要事項を記載するとともに、配偶者の戸籍謄本などを添付する必要があります。

相続税がかからない財産には、どんなものがあるか

相続や遺贈によってもらった財産でも、次のようなものには相続税はかからないことになっていま

(2)



す。

- (1) 墓所、仏壇、祭具など
- (2) 公益事業を行なう人がもらった財産で、その事業に使うことが確実なもの
- (3) 相続税の申告期限までに、国や地方公共団体または、特定の公益法人に寄付した財産
- (4) 心身障害者共済制度に基づく給付金の受給権

てん菜

前記の通り、月末には播種作業が始まります。紙筒移植法が取り入れられて十年になります。

なれからくる手抜きをなくして、基礎技術を忠実に守りましょう。丈夫な苗を作るためには

- ① 床土の乾燥と土詰
- ② 床土のPH矯正
- ③ 磷酸施用による強化苗の育成
- ④ 温度管理の励行

(5) 各相続人が受けとった生命保険金のうち、相続人ごとにそれぞれ百五十万円までの金額

(6) 各相続人が受けとった退職金などのうち、相続人ごとにそれぞれ八十万円までの金額

なお、遺族が受けとった香典などは、税金の対象にはなりません。

しかし、被相続人の勤務先などから香典などの名目で多額なものを受けとった場合には、税金の対象になることもあります。

相続財産はどのように

評価するのか

相続税を計算する場合には、相続などによってもらった財産の価額がいくらかであるかを評価する必要があります。

この場合の財産の価額は、原則として相続の日の時価によります。その評価方法については、財産の種類ごとに具体的にその基準を定めていますので、税務署におたずねください。

等を守りましょう。

水稲

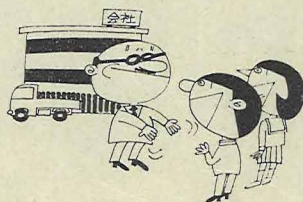
水田休耕奨励金は、今年で打ち切りになるようです。

水田は一年荒しておくだけで、林のようにヤナギ等が密集します

経営の内容を充分検討して、田畑に無駄のないような管理をしましょう。今年作付する水田には、近く各機関より発表される天気予報を参考にして、早生、中生種の

新規学卒者の受け入れには

- 働きやすい環境を整えよう
- 管理者や従業員は迎え入れる心構えを
- 職場に相談相手を選んでおこう



作付比率を選択しましょう。

野菜

最近皆さんの家庭にも、段々新しい種類の野菜が出廻って来ています。良い種類の種子はすぐ売切れになります。

三月下旬ころから播種するものには、トマト、セロリ、カリフラワー、ブロッコリー、子持カンラン等があります。

その他レタス、シユンギクなども比較的栽培されていない種類です。播種期の早いものには、寒期にあうと抽苔(とう立ち)をおこす種類がありますので、充分注意

してください。

不明な点は、関係機関に問合せ充分理解してから実施しましょう

乳牛の飼料給与

先月給与量について述べましたが、もう一度確認してみてください。あと二ヶ月の飼料をなんとかもちこたえたいものです。

特に昨年の暮れより牛肉の価額が高騰してきているためか、成牛または、育成牛の売却が激しく、乳量の減少が著しくなっています。酪農家は何と云っても牛乳を生産することが本命であって、育成して売却することが本命では

ありません。今、高値だからと云

って売去しますと、再び牛を購入するときは、より高値になって、かえって現在の経営が縮小される結果となります。この冬期間、あと二ヶ月間の飼料を何とかもちこたえたいものです。不足分はバルブや、稲わらで補給してください

配合飼料の値上げに対して、一月からの値上がりは続き、三月より再び値上がりしようとしています。その上、品不足によって充分なだけの配合飼料がすぐに入手できるとは限りませんので、注文は早目にしてください。

現在の情報によれば、四月より

更に値上げの傾向が出ています。

一度値上げされると、値下げは考えられませんので、本年は雑穀類の作付けも考えましょう。

特に、えん麦、麦類、結実デントコソンの作付を考え、購入飼料にたよらない自給飼料中心の経営を行なうことが大切です。

参考 配合飼料の値上げによる生産費の上昇

鶏卵	一キログラム当り	二十円
豚肉	〃	二十四円
牛肉	〃	三十二円
生乳	〃	二百十六銭

スキーマのバツチ

テスト(級の認定)

が行なわれました

▼一級

佐野和義 永野建憲

▼二級

菅原幸三 菅田一二 寺川千代
八矢孝子 田中広明 増木康郎
沢谷寛 新子由美子 影山弘子
中西トキ

▼三級

鈴木康志ほか十四名

▼四級

川井武志ほか一名

▼五級

千崎弘行ほか十三名

ご入学のみなさん

おめでとう

入学予定児童 一三五名

男子 六五名
女子 七〇名

▼佐呂間小学校

◎宮前町

松田泰一 船戸崇史 菊地美宏
上伊沢沖宏 工藤貴尚 大塚直樹

古川智樹 堺 文博 山下正浩

寺田和元 田中慶昌 幸松 寛

幸松 賢 松尾憲幸 越智しのぶ

阿部まなみ 細谷祐香里 山原美

雪 堀 理子 深川みな子 久末

万記子 木戸華奈恵 阿部陽子

藤原ゆかり

◎永代町

佐藤雅昭 水戸 肇 鈴木雅貴

中原教美 沢井敏樹 山田真祐美

阿部真由美 水野まゆみ 十亀幸

恵 嶋中博子 宇佐美貴子

◎幸 町

鈴木貴信 坪川智幸 杉 啓行

惣田美幸 杉谷徳江

◎西 富

生地政隆 桜井 茂 沢村正己

田中良典 藤宮賢次 向井正幸

押野 亨 三田村 保 牟中 順

井谷佐智子 平戸由美子 山本久

美子 山田 恵 海老名弥生 佐

々木美智子 宗村さゆり 藤田千

津子

◎北 ◎東

郡山明恵 斉藤玲子 本田由美

子 谷沢尚美 梶 陽子

▼知来小学校

上杉 貢 大山昌子

▼仁倉小学校

中村隆俊 大塚秀章 佐藤勝江

鳴海智代 大沢美智子 中村なお

み 大和真己

▼浜佐呂間小学校

斉藤昭洋 石塚恵二 笠井昭弘

中村淳一 鈴木祐司 中村浩子

室井久美子 佐藤尚子 藤原千晶

折出朗子 川筋裕美 渡辺倫弥

中野あゆみ

▼幌岩小学校

楠林浩司 佐々木政浩 本田浩

美 内田美知子

▼富武士小学校

橋本弘樹 五十嵐 徹 山崎美

樹雄 兼平俊幸 佐藤輝美 宮下

節子 伊藤真由美 海辺深雪 藤

田留美

▼若里小学校

浦島宏毅 三田孝男 齊藤孝行

井田公俊 日沼美子 西 明美

金子美智子

▼若佐小学校

川尻圭嗣 佐藤 円 柴田英治

三島朋恵 谷川さとみ 大岩朋代

千葉真奈美 桑原明美 迎 久美

橋本哲也 佐々木秀司 門崎敏政

大関庸子 二神一美 石塚ひとみ

山下貴代芳 田中寿昌 川村良則

藤田敏男 藤田ゆかり

▼栄小学校

橋本敏幸 中川琴枝 山口浩之

渡部義則 十亀秀紀 榎原公恵

佐々木幸良 宇佐照広 宇佐賢一

十亀晴美

▼栃木小学校

千葉美和子

国民年金

今回の年金の改正について

老後の生活を保障する年金制度が、住民生活に深く根ざしたものにねばなるほど、重要なものとなり、今後、この制度を正しく発展させるためには、住民のみならず、年金の仕組みについて充分な理解が必要と思われます。

今月は、保険料のことについて説明いたします。

◆保険料

定額保険料 月額 五百五十円
所得比例保険料月額 三百五十円

(注) ①所得比例保険料は、昭和四十五年十月に設けられた制度で希望者が任意加入をして、より高い年金給付を受けられるものです。所得比例を納めますと、給付の項でのべましたが、将来受ける老令年金と通算老令年金、死亡一時金の額がふえます。

②所得比例保険を納めた場合には老令年金の額を計算するときに、所得比例保険料を納めた月の一ヶ月について百八十円の割合いで加算額がつけます。

◆国庫負担

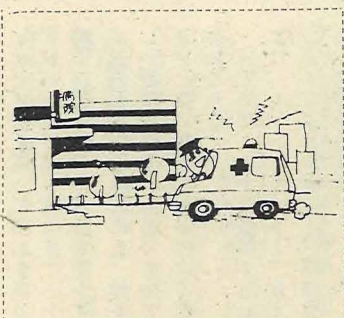
(1)定額保険料については、納めた額の半額を国が負担して一緒に積立てていきます。

(2)保険料免除期間の年金額は、普通に保険料を納めた人の三分の一に減りますが、その費用は全額を国が負担します。(保険料免除の項参照のこと)

(3)所得比例保険料については、年金を支払うとき、給付額の二五%を国が負担します。

◆保険料免除

被保険者のなかには、職の無い人、失業する人、無収入の人など保険料の納められない人も含まれていますので、こうした人について、納められない期間は免除する措置があります。法に定めた要件にあてはまれば当然免除される「法定免除」と、申請して承認を得て認められる「申請免除」の二つがあります。法定免除とは、障害年金、母子福祉年金、準母子福祉年金の受給権者であるとき、生活保護法による生活扶助を受けているときは、その期間が終るまで、当然保険料納付義務が免除されるものです。以下次号に掲載



もうすぐ学校

新入児童をなれさせ

はげましてあげよう



新入学児童のいるご家庭では、いまがいちばん心配のときです。ピカピカ光ったランドセルは机の上においてあります。

通学服も学用品も、もう全部そろいました。それなのに、お母さんはまだひとつ心配があります。

「うちの子がみんなといっしょにやっていくかしら……」ということ。

これまで保育所にかよっていたお子さんなら、ある程度なれていますが、初めての場合は、お友達の顔をみて気おくれがしたり、学校がらになることも考えられます。



朝の連続テレビ

「北の家族」の配役決まる

「藍より青く」に

代つて四月より

朝の連続テレビ小説「藍より青く」に代つて、四月二日スタートする楠田芳子作「北の家族」は、さきに主人公、佐々木志津に文学座の新人・高橋洋子、その兄・和

夫に落合プロの清水章吾の起用を決め、他の主な出演者の選考をすすめていたが、この程次のような配役を決定した。

まず佐々木家は、志津の父・辰造に下元勉、母・春に左幸子、弟・信二に三浦康晴で一家を構成するのをはじめ、志津の勤務先の女主人に文野朋子、佐々木家と親しい「松前のおばさん」に七尾令子のベテランが出演する、さらに三田和代、林本聖、細川俊之、草野大悟、長澄修らが登場してドラマにいった厚みを加えることになっている。また、ナレーターは緒方拳、音楽は三枝成章に決定した母親役になる左幸子は、四十四年

すので、よく先生とも相談したりご近所のお友だちの家へも訪ねて話しあい、お互いに気心を知らせ合っておくのもよいでしょう。また、最低これだけはお子さんの身につけておきたいものです。たとえば

①自分の名前がいえる、書ける、読める。②あいさつができる。③ハイとイエエの意思表示ができる。④ハンカチやチリ紙の使い方ができる。⑤自分の衣服の脱ぎ着ができる。⑥用便がたせるといったことがらです。

お子さんがたは、これまでと全く変わった環境にはいる訳ですからその生活に早くなれるように指導し、はげましてあげてください。

おぼえて
おいて
ください



町、道民税の申告を
おわすれなく

三月十五日までです

今年もまた、町、道民税申告の時期になりました。昭和四十七年中の所得について、三月十五日までに申告していただくよう、申告者個人宛に直接申告書用紙を郵送いたしましたので、期限までに忘れないで申告をしてください。なお、次にあげるかたは申告書を提出する必要があるかもしれませんので承知ください。

▼所得税の確定申告、事業税の申告をするひと。

▼給与所得者、官公庁、協同組合会社、事業所より給与の支払いを受けているひと。

▼農業所得者（別途取纏めすることになっています）

「一日一元」の

交通共済に

家族みんなで

加入しましょう

新規申込み二月中旬各部落で、

「一日一元で……」のキャッチフレーズで、交通安全共済制度ができておりますが、昨年の町内の加入率は五五・六％になっております。去年の交通事故件数は三七件、見舞金は一六五万円（二十二件）の多くなっています。不幸に交通事故に会っても、共済に加入してないため、見舞金を全々もらえないひとが毎年たくさんおります。いま新年度加入申込み受付中です、この機会に家族揃って加入しましょう。

厚生年金住宅

賃借申請を

受付けています

三月十七日まで

この厚生年金住宅とは、従業員の数が三〇〇人以下の中小企業の事業主に融資され、従業員の住宅を建設するため借入できるものです。

いま、申込みを受け付けて中です。

◎詳しいことは工営課建築係にお問い合せください。

「しか」は禁猟に

なっています

狩猟規則を

守りましょう

最近、町内にもたまたま「鹿」が現われていますが、この鹿は狩猟禁止になっております。

町外で聴かれる「無法狩猟」のないよう、ハンターのかたは注意しましょう。

一般健康相談

毎週土曜日

十日、十七日、二十四日、三十一日

午前九時半～十一時半

福祉会館

母子健康相談

佐呂間

七日 福祉会館

若 佐

午前九時半～二時半

浜佐呂間

十五日 出張所

午後十時～正午

母親学級

十三日

福祉会館 午後一時半

新婚学級

二十四日

公民館和室 午後二時

新年度町議会は

十二日からの予定

新年度予算「定例第一回」の町議会は、三月十二日から開催される予定です。

今年の卒業予定数

中学卒業予定

男子 一〇九名

女子 一〇六名

計 二一五名

高校卒業予定

男子 九名

女子 五名

計 一四名

全日制

男子 四五名

女子 八一名

計 一二六名

「下の句」

かるた大会成績

A組

優勝 早乙女（斉藤、堀切、杉谷）

二位 汐風 三位 若佐 四位 佐高

B組

優勝 男山（中野、諸岡、山内）

二位 わかしお 三位 湖 四位 湖王

町政日誌

二月

一日 遠紋地区広域市町村

二日 園実施計画作成会議

特別職報酬審議会（第二回）

管内戸籍事務協議会

管内交通安全事務担当者会議（温根湯）

自動車免許更新時講習会

自治会長行政懇談会

整備管理者定期研修会

管内町村会総会（温根湯）

管内広報技術研修会（温根湯）

例月出納検査

遠軽ブロック町村長会議

地区労働組合協議会

と町政懇談会

北富地区畑総事業期

成会役員会

農業委員会

工営常任委員会

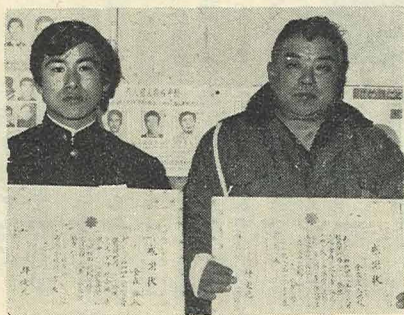
農業学園終業式

冬期農業講座

定時制卒業生を励ます会

健康を守る婦人大会

けが人搬送 現場保存、夜間交通 ——整理などに協力



金森さん親子 警察署長より表彰される

過般、町内でおきた交通事故の際、現場保存、怪我人搬送などで若佐の金森農夫也(52)さんと勝(16)さんが、遠軽警察署長より表彰されました。

去る二月九日午後十時半頃、道々の若佐広徳寺前を通りかかった金森さんは、そこに血まみれになって倒れている男の人を発見し、すぐ交通事故だと判断して、怪我

人を厚生病院へ運ぶ一方、息子の勝くん(佐高生)を現場に立たせ交通整理と現場の保存に努めたもので、十五日遠軽警察署長さんがわざわざこられて表彰されたものです。本人は、当然のことなのでテレていましたが、このような協力が事件の解決を早め、人命救助にもつながってきます。

永年勤続交通指導員として

杉谷正男さんほか表彰される

道民運動推進委員会より

永年勤続交通指導員(五年以上)として、次のかたが北海道交通安全道民運動推進協議会から表彰

されました。

浜佐呂間 杉谷正男 森井正重

土門善蔵 (敬称略)

「でっかいナー」

冬空をつく「神明造り」

佐呂間神社の大鳥居出さる

富丘の自治会長に

田中政雄さん

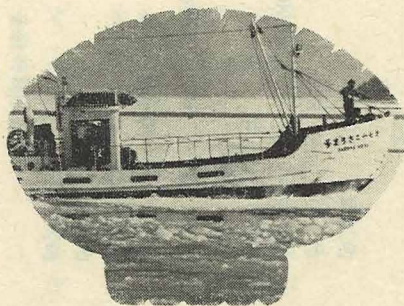
町内の自治会長さんを先にお知らせしましたが、富丘部落の自治会長には田中政雄さんが決まっております。

部落から

30センチの

氷もなんのその！

砕氷船好調な操業



くれています。同船に同乗した内外関係者(主に新聞記者)は二十数名おりましたが、砕氷作業を遠くで見ているのと、実際に乗って船べりでみたとはいえ、高速で連続的に三〇センチ以上の氷を乗りあげて破壊し、バックしてまた挑むというダイナミックなさまは思わず喚声をあげるといっても、容易に水路を作っていくま

ないかい、
内海操業には、日本で初めてという「砕氷船第七十二さろま号」が好調に操業しています。

この砕氷船は、昨年十月に進水しておりますが、先月、サロマ湖内の結氷を機に砕氷の試運転をしましたが、予想以上に能力は高性能で、漁業関係者は一様に気をよ

このような作業の繰り返しによって、融氷の促進は勿論、海中の攪拌によってプランクトンの発生を容易にし、また水下一へ酸素の供給など、垂下してある帆立の成長を成長させるのに大きな役割を果すといわれています。

特に従来、結氷期、解氷期の氷のゆるんでいるときに操業できなかったのが、いまでは年中とおし生産でき、四〇%以上の増収をあげて注目されています。

高校生の善行

乗り越して困っている

水平線



佐呂間神社に立派な鳥居が、寄贈建立されました。佐呂間神社の遷宮は、昭和十九年に行なわれ、鳥居もその時に建立されておりますが、この寿命が意外に短く、中間で一回建てなおしており、長い風雪に耐えてきた大鳥居は腐蝕が甚しく、非常に危険な状態でした。神社総代会では、一昨年から新たに建立するた

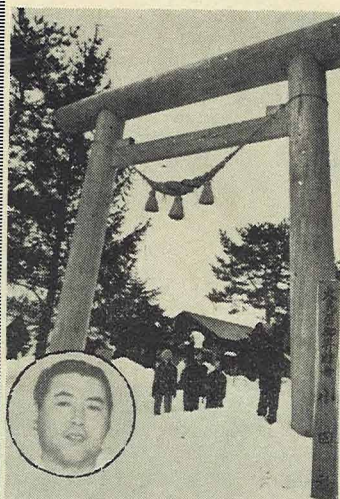
つれづれに思う

日々はげしく移りゆく生活環境の中で、私たちのような小さな農家は、何を目前に生活したらよいかを考えさせられます。

農作物は安値でたたかれ品不足になってきたらバカ値が出る。

農家でもっていない品に高値がついても、ただ指をくわえて見ているだけです。

米を作れば品質がわるいとか、牛乳にしてもいっこうに高くならな



意外に短く、中間で一回建てなおしており、長い風雪に耐えてきた大鳥居は腐蝕が甚しく、非常に危険な状態でした。神社総代会では、一昨年から新たに建立するた

い、逆に飼料はどんどん高くなる肉牛が高いので乳牛を手ばなして切り替える人もいます。このような状態は一日も早く解決して欲しいと思います。幸いにして当町は、町政もしっかりしているの、後継者問題、老人医療問題、年金など生がいに希望を持って生活でき、その点は大変喜ばしいと思っています。

最近、新聞などにのっているひとりで暮しの老人問題についても、考えさせられることが、あまりにも多すぎます。せめて身近なお年寄りだけでも、私たちの手で楽しい毎日を過ごさせてあげたいと願っております。

佐呂間は、立派な「老人いこいの家」がたてられ、富丘部落は近いという便利さもあり、月二回の集まりを持ち、温泉につかったよ

話を聞いた小田 稔さん（厚生病院院長）は、「まちの皆さんから寄付を集めるのもなんでしょから」と全額（八五万円）の寄付を申し出て建立されたものです。

この鳥居は、高さ六・三メートル、丸太の直径七五センチのものを組み合せた「神明造り」で、原木も地元になく、置戸の山奥から搬出してきた直径一メートル余りの赤松です。

年に一度はぐるこの大鳥居も普段は莫然と眺めています。こうした善意があったことも忘れることはできません。

うな気分になって、とても楽しい一日を過ごしておられます。また、時には婦人会も一緒に接待したり、ともに遊んだり、うたったりして、お年寄りに喜ばれていますが、なんといっても家庭内の思いやりが一番だと思います。

近年の農業も、時代の移り変わりとともに大型農業になり、多少楽にはなったが、反対に設備投資などにお金がかかり借金がふえています。若いものは、いっしょうけんめい気をつかって働いています。その姿は非常に美しい、その労働の中に将来の大きな夢をもっていることでしょう。

私たちも、その日の来ることを願いながら日々を大切に、皆さんの善意に支えられながら頑張りたいと思っています。

富丘川 又 朝子

少年に親身の親切

佐高生 大角さんほか二人



で、この程、中湧別の駅長さんから連絡があつて解ったものです。このように「小さな親切」は、仲々勇気のいるものです。私たちが、お互いに困っている人には親切にしてあげましょう。

全町卓球大会

団体男子

一位 漁組チーム

二位 役場Aチーム

三位 混成チーム

女子

一位 ママさんB

二位 ママさんA

三位 役場

個人男子

優勝 北島耕作（北電）

二位 山本芳雄（役場）

三位 小野寺豊（漁業）

女子

優勝 杉森愛子（農協）

二位 山本昭子（ママさん）

三位 小山美和子

（ママさん）

よいおこないをした、高校生は佐呂間高校三年C組の大角和美、長屋淳子、山内久美子さんの三人で、下車駅を乗り越して困っていた少年を励まして無事に帰らせたとおはなし。

ちよつと旧聞になりますが、前記三人が美幌からの帰り途、常呂をすぎたところ、隣りに寝ていた少年がガバツとおきて「能取はすぎた？」と聴くので、うなずくと急にオイオイ泣きだしました。

事情を聴いたら、能取駅で降りるのだったという。

少年は乗り越しの不安から泣き止まず、途方にくれていたもので彼女たちは同情して早速、車掌に事情を話して次の汽車で送り返して貰うことを約束し、駅から自宅へ連絡をとるなど、また、腹がへっているだろうとパンを買って与え、そのうえ帰りの汽車賃を出し合せて与えるなど、少年を勇気づけ、本当に親切にしてあげたもの

水灯社



・剪定の缺に冬日暖かし

安藤 幸

・暖冬を幸とし客土抄りぬ
・一と目つつ網すく漁夫に日脚伸ぶ

中山 松風子

・繕いで裸眼で米寿を日脚伸ぶ

・暖冬の日々も過疎風吹き続き

中村 黎容

・冬ぬくし野鳥も遊ぶ里になり

・黄痘の残る嬰兒に日脚伸ぶ

仲川 老女

・日脚伸ぶ窓のかげりもやわらけり

・冬ぬくし退院の許可待つばかり

・時計の足遅きにあらず日脚伸ぶ

江田 由紀子

・暖冬や人来て光やわらかに

・日射し伸ぶ孫来て祖母の顔となる

太田 喜堂

・雪まらぶ稚児の影長く日脚伸ぶ

・湧別野久しく雪ぐも晴れ渡り

鈴木 房子

・寡婦の子の文ながたとひたむきに母をかばえり貧憎みつゝ

小山 閑吟

・乳色にけむりし春の待つ我れに

・北国の夜は長き冬窓

北国の春の集いの武華の湯に久しき友の美しきかな

辻 敦子

・北国の春の集いの武華の湯に久しき友の美しきかな

鈴木 孔

寄付

社会福祉協議会へ

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

千九百八拾円也(大正十四年丑年会残金)

全町スキー大会(大回転)

小学校(一、二年)

①伯谷浩②川井武志③渡辺上(三、四年)④伊藤哲尚⑤惣田浩⑥佐藤幸央(五、六年)⑦川井清実⑧菅原幸二⑨佐野隆浩

中学校

①今井教恵②昌沢克己③増木英郎④青年⑤沢谷寛⑥成年⑦富崎敏憲⑧佐藤和明⑨鎌田一司

▼壮年(35~44)①松木久人②伯谷峻③阿部達夫(45以上)④増木康郎⑤玉井清⑥平野玄

▼女子①塚原孝子②吉田敏枝③伯谷洋子

編集室

「行政」を広くお知らせする「広報」が、広く住民に関心をもたれて読まれていることに、意を強くしています。

特に、先月号については、内容の不備、広報意識について、まちのかたから貴重なしつた鞭撻をいただいた。広報マンとして、まだまだ視野を広げなければならぬと痛感すると同時に、改めて責任を感じました。

「町民の窓」(投書コーナー)を設けておりますので、折にふれて皆さんのご意見をお願い致します。

道夫の家

